

第8回 弟子屈町子ども・子育て会議てん末

日時 平成29年10月12日（木）午後3時00分
会場 弟子屈町役場 3階 委員会室
日程

1. 委嘱状交付
新規委員2名に交付
2. 町長挨拶
3. 自己紹介
(委員及び事務局)
4. 副議長の選出（互選）
副議長 土屋 直人 氏
5. 弟子屈町子ども・子育て会議について
(事務局説明)
6. 議案審議
 - (1) 平成28年度子ども・子育て支援事業計画の事業評価及び達成率について
28年度に分かりにくいとの指摘があった事業評価については、29年度より5段階方式にすることで理解しやすいものとした。
また、16ページの小中学生に対する食育指導については今年度は実施されなかった事について健康推進係の栄養士より説明がなされた。
その他、それぞれの事業内容や事業評価については別添資料「弟子屈町子ども・子育て支援事業計画 平成28年度事業計画表」を参照。
 - (2) 平成29年度子ども・子育て支援事業計画の事業評価及び達成率について
別添資料「弟子屈町子ども・子育て支援事業計画 平成29年度事業計画表」を参照。
 - (3) 子ども・子育て支援事業計画の中間年の見直しについて
別添資料「弟子屈町子ども・子育て支援事業計画修正（案）」を参照。
 - (4) 幼保連携型認定こども園の進捗状況について
別添資料「弟子屈町における就学前教育・保育のあり方について 認定こども園の解説に向けて」を参照。

平成 31 年 4 月の解説に向けて、福祉こども課の廣田課長補佐より経過説明が行われた。保育・教育の水準は現状を維持しつつ、保育士の給与向上を目指すことや、補助金等についての説明があった。前回の子ども・子育て会議では、子ども支援センターの機能もこども園へ移行したいとの説明をしたが、その点については H31 年度は見送りとした。こども園の運営が軌道に乗るのを待ち、改めて検討する。同時に、建物についても大規模な工事はせず、あくまで内装の改修等の小規模なものに留めるとのこと。

(5)その他
特になし。

別紙1

質疑内容

(1)平成28年度子ども・子育て支援事業計画について

- Q. 平成28年度の酪農教育ファーム出前授業はどのような形で行われたか。
(P16「小・中学生に対する食育指導」健康推進課)
- A. 事業を実施したいという要望を役場で受けたため、外部講師を招く形で実施した。固定の窓口は摩周湖農協に置かれている。
- Q. 妊娠安心サポート事業について、緊急性を鑑みた場合GPS等も利用したほうがより効果的ではないか。
(P3「妊娠安心サポート事業」健康推進課)
- A. あらかじめ個人に番号を設定し、それによって緊急時の情報伝達の利便化を図るのが目的である。現段階でもおおむね有効性が認められているものの、まだ初実施からまもない事業であり、使い勝手が悪い点は否めない。GPS利用等の意見も踏まえて、これから改善できるところは改善していきたい。
- Q. 安全妊娠サポート事業の登録状況について。
(同上)
- A. あくまで任意であるため、今年度の新規出生総世帯数に対して半分以下にとどまっている。登録しない理由の調査等は特に行っていないが、緊急時に父親が動ける家庭の場合は登録しない傾向にあるようだ。周知が足りない部分もあるようなので、今後検討していきたい。
- Q. 放課後子ども教室について、事業計画には検討中とあるが現段階で説明できる部分はないか。
(P32「放課後子ども教室」福祉こども課)
- A. 放課後子ども教室については、現在子育て支援系の管轄である放課後児童クラブの運営とは異なる事業であり、社会教育的な側面が大きいことから教育委員会や学校との連携を図る必要が認められる。現状では実施は難しいとみている。
- Q. 子育て短期支援事業について、実施は本当にできないのか。
(P41「子育て短期支援事業」福祉こども課)
- A. 実施するための場所が弟子屈町にはなく、実施は困難である。公立施設では難しいとの見解である。

別紙2

(2)平成29年度子ども・子育て支援事業計画について

Q. あらたな乳児養育支援事業については、150,000円分の助成券を使うことが難しいという意見を聞いている。購入できる対象物品の幅を広げたり、使用期限を延ばしてほしい。

(P46「乳児養育支援事業」福祉こども課)

A. 新規実施の事業であり、課内で検討中である。子育て世帯のニーズにより合ったものにするよう、使用状況調査等を行い改善を図っていきたい。

Q. 町民プールの工事が5月～8月になった理由について。プールが最も利用される次期ではなく、日程をずらすことはできなかったのか。

(P25「スポーツ活動・水泳教室」社会教育課)

A. 緊急性が高く突発的なものだったため、やむをえなかった。次回からは時期を考えて実施するように検討する。

Q. 子どもの居場所づくり事業についての進捗はどうなっているか。

(P78「子どもの居場所づくり事業」福祉こども課)

A. 現在検討中だが、どのような子どもであっても気軽に来ることができるようなものを目指す。近々、関係機関と協議を行う予定であり、実施に向けて鋭意努力を続けていく。

(3)子ども・子育て支援事業計画の中間年の見直しについて

質問なし

(4)幼保連携型認定こども園の進捗状況について

Q. 保育料についてはどうなるのか。

A. 現在町では保育園入園児に対しての支給認定作業を行っているが、認定こども園へ移行した後の保育料を試算すると現状より高額になることがわかっている。現在通園中の保護者が不利にならないような取り組みを行うことを課内で検討している。